



第1回お知らせ (2頁目以降, 仮訳版)

1st Announcement

PIANC – COPEDEC XI

**Eleventh International
Conference on Coastal and Port
Engineering in Developing
Countries**

**IIT Madras, Chennai, India
22-26 February 2027**

*“Adapting coastal, port and waterway infrastructure to the
changing climate”*

PIANC COPEDECについて

1983年3月にスリランカ・コロンボで開催された第1回「開発途上国における海岸・港湾工学国際会議(International Conference on Coastal and Port Engineering in Developing Countries(COPEDEC))」の成功により、開発途上国において4年毎にこの特別会議を企画する常設の事務局(PS)が設置されました。2003年のコロンボ開催の第6回COPEDECにおいて、PIANC(国際航路協会)とCOPEDECの二者間で統合協定が調印されました。インド工科大学マドラス校(IIT Madras)でのCOPEDEC 2012会議は大成功であったことを受け、PIANC-COPEDEC国際組織委員会(IOC)は、2027年の開催地として再びIIT Madrasにその榮譽を託すこととなりました。今回の決定を公式なものとする覚書(MOU)は、2024年12月10日にIIT MadrasとPIANC間で署名されました。

会議の公用言語は英語として、会議の週の間、技術視察ツアー及び交流イベントを実施します。

目 的

PIANC-COPEDEC会議の主な目的は以下のとおりです：

1. 開発途上国の海岸・港湾技術者による相互または先進国の専門家と知識・経験を交換する国際的プラットフォームの提供
2. 持続可能な海岸・港湾工学の専門家の人材育成プールの発展を支援

今回の第11回会議(PIANC-COPEDEC XI)の全体テーマは 「気候変動に適応する沿岸・港湾・水路インフラ」

これまでの会議と同様に、技術課題の重点分野は変わらない予定です(4頁参照)。

発表論文は、途上国および先進国における海岸・港湾工学の実践的な適用、計画、管理や環境的な観点(ケーススタディ作成や議論を含む)に焦点を当てる予定です。

参加登録

本会議の参加登録料は次のとおりです：参加者650ユーロ（論文発表著者：600ユーロ，学生：350ユーロ，同伴者：350ユーロ）。なお、ワークショップが開催される場合は、その参加登録料は別途設定され、上記の会議参加登録料には含まれません。

参加者の登録料には、次の内容を含みます：●会議の全ての技術セッションへの参加 ●会議資料一式 ●指定ホテルと会議会場の間の送迎 ●レセプション及び夕食会への参加及び2027年2月24日(会議第3日目)に企画するガイド付きツアー ●同伴者向けのその他の特別ツアーです。詳細情報、参加登録フォーム、ホテル予約フォームは、会議ウェブサイトに掲載予定です。現時点の [会議ウェブサイト ここから！](#)

フェローシップ(*開発途上国からの参加者向け)

フェローシップは、選抜された参加者に提供されるもので、開発途上国からの著者を優先します。資格を得るには、提出したアブストラクトが採択されることが必要です。フェローシップ申請の詳細手続きは会議ウェブサイトに掲載されます。フェローシップの申請はアブストラクトと共に所定の締切日までの提出が必要です。

アブストラクト提出

2ページ以内でアブストラクトの電子ファイル(Eメール添付のWordファイル)を2025年12月15日までに論文選考委員会(PSC: Paper Selection Committee)事務局(copedec2027@doe.iitm.ac.in)まで送付お願いいたします。

アブストラクト、会議ウェブサイトからダウンロード可能な指示書に従い作成してください。[アブストラクトのテンプレート ここから!](#)

アブストラクトの採否は2026年3月末までに通知の予定です。アブストラクトが採択された発表者は、2026年10月31日までに最終版論文の電子ファイル提出の必要があります。採択論文の著者には、使用ソフトウェア、フォーマット、レイアウト、入力方法及び論文提出に関する指示が別途送付されます。この情報は会議ウェブサイトにも掲載予定です。採択されたアブストラクト及び論文全文は、USBメモリにてデジタル形式で収納され公開されます。

(今後の)主な予定

●アブストラクト提出締切（及びフェローシップ申請締切）	2025年12月15日
●スポンサー申請・展示申請に係るパンフレット配布	2026年2月
●会議事務局・各委員会の開催	2026年3月
●アブストラクトの採否の通知	2026年3月末
●修正アブストラクトの提出締切	2026年8月
●論文全文の提出締切（及び会議参加の登録）	2026年10月末
●会議お知らせ（第2回及び最終報）	2026年11月
●PIANC 第11回COPEDEC開催	2027年2月21日～26日

論文は、著者のいずれか一人が会議にて、主執筆者の保証の下で発表していただきます。発表者には、参加登録料の割引が適用されます。選ばれた論文は、最大4つが並行して開催されるセッションで発表していただき、各発表の割当時間は20分間、その後5分間の質疑応答が設けられます。

インド工科大学マドラス校(IIT Madras), チェンナイ

本会議は、インド工科大学マドラス校(IIT Madras)の広大なキャンパスにて開催されます。緑豊かな森林に囲まれた同校キャンパスは、非常に刺激的な技術的な議論を行うのに理想的な環境を提供しています。同校キャンパスは、近代的な大学としての全ての施設・設備を有する自己完結型であるとともに、豊かな動植物に恵まれた環境に立地しています。このキャンパスは、タミル・ナードゥ州の政治・文化の中心であるチェンナイ(旧称マドラス)に2.5平方キロにわたっています。チェンナイ市はインド南東海岸に位置し、国内第4位の規模の大都市です。368年の歴史を持つ本都市は、世界第36位の規模を誇る大都市圏でもあります。また、主要な商業・工業の中心地としても知られ、文化遺産や寺院建築でも有名です。国際空港を有し、数多くの主要航空会社により他国との接続が良好です。

暫定的な会議プログラム

本会議では、議論、考察および参加者間の交流の促進を目的とし、以下のテーマをカバーしますが、これらに限定されるものではありません。全体テーマ「気候変動に適応する沿岸・港湾・水路インフラ」に関連する観点は幅広く歓迎します。

- a) **港湾工学**：沿岸・海港・内陸港湾の(インフラ)構造物／物理的・数值的モデリング／港湾構造物の維持管理・点検・補修／港湾構造物の建設用の新設備・機材や新材料
- b) **港湾計画・管理運営**：港湾・マリーナの計画・配置／航行関連の観点／運営・維持管理／クルーズターミナル
- c) **海岸工学**：海岸インフラ／海岸安定化／取水・排水システム／海岸保全／海洋環境用の資材／堆積と水力学
- d) **沿岸域と沿岸リスク管理**：ウォーターフロント開発／沿岸植生と森林／観光・レクリエーション／海洋汚染／数値解析技術／異常波現象と解析／津波／海洋災害の危機管理
- e) **近海航路, フェリー, RORO, 漁港, 沿岸・内陸水路**：計画と設計／インフラ／管理／運営・維持管理／物流面, 経済面, 環境面からの優位点
- f) **気候変動と港湾・沿岸環境問題**：国際条約, 規制／構造物及び海上輸送による汚染と環境影響／沿岸及び海洋生態系／気候変動／海洋再生可能エネルギー
- g) **港湾及び沿岸における人工知能(AI)及び機械学習(ML)の応用**
- h) **浚渫及び発生物の処分・管理に関する課題**

連絡先・問い合わせ先

登録, 参加及び会議組織に関する詳細は, 下記までお問い合わせください:

国際組織委員会(IOC)

International Organising Committee

PIANC-COPEDEC XI

C/o. PIANC General Secretariat

Koning Albert II-Laan 15, box 466

1210 Brussels (Belgium)

Tel +32 2 553 71 61

Email info@pianc-aipcn.org

地元組織委員会(LOC)

Local Organising Committee

PIANC-COPEDEC XI

Department of Ocean Engineering

Indian Institute of Technology Madras

Chennai 600 036 (India)

Tel +91 44 2257 5824

Email copedec2027@doe.iitm.ac.in

PIANC-COPEDEC XIに関する全ての情報は, 会議ウェブサイト(以下のURL)にて
ご覧いただけます: <http://www.pianc-copedec2027.in>